第 92 号　　令和 4 年 7 月 15 日

世田谷たすけあいネット ニュース

発行責任者：世田谷たすけあいネット　代表　駒澤　重光

世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しい時、「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成１６年５月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みを解決すべく「無料で電話相談」にお答えし、情報の提供や出張サポートを行っています。

皆さん　いかがお過ごしでしょうか？

ここにきてまたもやコロナ禍再燃という兆しが見えて第７波に入った、との報道もなされておりますが、いかがお過ごしでしょうか？
今回は新代田あんしんすこやかセンター訪問記を掲載しましたのでご一読下さい。
コロナ禍が少し和らいだ、ということで６月初めにボランティアの皆さんや関係先へ活動再開の通知をいたしましたが、ここにきてまたコロナ感染拡大の事態に至り今後の活動についてまた見直さざるを得ないかもしれませんが、その時は改めてご連絡いたします。

今年の夏は、コロナ禍に加え猛暑続きで熱中症も多発しておりますのでくれぐれもご自愛ください。

世田谷 あんすこ訪問記　第 15 回　新代田あんしんすこやかセンター

訪問者　藤澤 恒生

連日の猛暑続きの中、また一時沈静化していたコロナ禍が再び急激に拡大し始め第 7 波の到来が懸念され出した 7 月中旬に、新代田あんしんすこやかセンターを訪問しました。
管理者の間野 武雄樹（まのふゆき）さんは、現下の厳しい時期にもかかわらず快く訪問を受けて下さりいろいろと話をお聞きすることができました。
新代田あんしんすこやかセンターは運営主体が稲城市の正吉福祉会で、世田谷区内のあんすこは新代田一か所のみですが、稲城・杉並・町田・狛江など各所で地域包括支援センターを運営しており、各々の地域特性を生かしつつ相互連携をとり利用者により有用な支援活動を心がけている、とのことです。
職員は社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー、ケアマネジャーなど 7 名配置して、環七通りを挟んだ代田（4～6 丁目）、羽根木、大原地区を担当しています。5000 人弱いる域内対象高齢者に対しサービスが行き届くように、職員の地域担当割をせず全員で課題を共有し解決にあたる方式をとるなど工夫し、運営の効率を図っているそうです。
ユニークな取り組みとしては、旧守山小学校の建物を活用して高齢者をはじめ、周辺住民の交歓の場として「美まもりやまカフェ」での活動を 2019 年 5 月にまちづくりセンター、社会福祉協議会とともにスタートさせました。このカフェは現在月 2 回開催しており、福祉作業所が作る焙煎珈琲や焼き菓子の販売があったり、地域福祉推進員、地区サポーター、サロン「男の秘密基地（太極拳、囲碁、将棋、ボランティア活動など行うサロン）」からボランティアの支援を受けるなど地域と連携して運営し、利用者の皆さんからも好評をいただいているとのことでした。
当方からは、世田谷たすけあいネットが高齢者の困りごとなど「ちょこっとサービス活動」を進めており、今はコロナ下で活動が一部制約されていますが、今後とも依頼者からのご要望にできるだけお応えできるようにしたい、とお伝えして訪問を終えました。

●電話相談日：毎週火曜日　（火曜以外は取り次ぎ）　Tel　6413－1506　Fax　6413－1556
●次回ボランティアミーティング 7 月 26 日　第 4 火 13：00～14：30